

8-1-4 対外活動委員会WG（道路会社）

1. 対外活動委員会 WG（道路会社）の概要

(1) WG（道路会社）の活動目的

東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)、及び首都高速道路(株)との意見交換会に向けて、建設コンサルタントの現状と課題を踏まえ、道路会社に対する「要望と提案」とその根拠資料を作成する。

(2) WG の構成（委員）

WG 長には対外活動委員会副委員長があたり、対外活動委員会から道路会社担当委員、道路会社業務検討 WG、技術部会から道路専門委員会、道路構造物専門委員会、施工管理専門委員会の委員長・委員を中心にメンバーを選出し、13 名体制で WG を構成した。

2. 主な活動の記録

(1) WG の開催

9月18日：第1回WG

10月30日：第2回WG

(2) 対外活動委員会での協議

上記WGで検討した「要望と提案」とその根拠資料について、10月の第2回対活・白書合同委員会で協議した。

(3) 意見交換会の開催

意見交換会は、次の日時で開催した。

11月27日：中日本高速道路(株)

12月 4日：首都高速道路(株)

12月 4日：東日本高速道路(株)

12月 9日：西日本高速道路(株)

3. 各道路会社向け「要望と提案」の骨子

「要望と提案」は次のとおりである。

I. 魅力ある業界を目指して

(1) 建設産業全体の働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働による取り組み推進・強化（東・西・中）

(1) 「成長と分配の好循環」の実現（首）

(2) 適正な積算体系の整備（東）

(2) 人件費向上の仕組みの整備（西）

II. 担い手確保・育成のための環境整備

(1) 建設コンサルタントにおける担い手確保・育成（東・中）

(1) 建設産業全体の働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働による取り組み推進・強化（中・西・首）

(2) 受発注者協働による災害対応に向けた継続的な環境整備（東・西）

(2) 担い手確保促進業務契約制度の検証と改善（首）

(3) 企業経営の安定と処遇改善に向けての環境整備（東・中・西）

(4) ネクスコ業務を実施できるコンサルタントを育成するための大手コンサルタントと地元コンサルタントのジョイントベンチャーの試行（東・西）

(5) 人材の確保・育成、新たな事業推進形態の環境整備（東・西）

III. 技術力による選定

(1) プロポーザル方式・総合評価落札方式等の適確な運用・改善（東・中・西・首）

(2) 適切な設計変更（首）

IV. 品質の確保・向上

(1) 受発注者それぞれの役割を踏まえたエラー防止への取り組み（東・西・首）

(2) 橋梁の基本設計・詳細設計・耐震補強設計における総合的な品質の確保（東・中・西）

(3) 維持管理・更新事業等における技術的課題解消に向けた発注契約方式などの改善（東・中・西）

V. 「DX 推進の環境整備」（東・中・西）

V. DX の推進（首）

(1) DX の推進（東・中・西）

(1) 受発注者協働による働き方改革に資する DX 推進（首）

(2) DX の推進の費用面・履行期間面での環境整備（東・中・西）

(2) BIM/CIM の利用環境の改善（首）

(3) DX 推進における費用面での環境整備（首）

VI. 施工管理業務の改善

(1) 施工管理業務の効率化（DX 化、簡素化、業務の実施方法の統一化）（東・中・西）

(2) 新規施工管理業務参入者への受発注者協同した教育及び支援（東・西）

※（）内の東は東日本高速道路(株)、中は中日本高速道路(株)、西は西日本高速道路(株)、首は首都高速道路(株)への要望と提案を示す。項目番号は原文のまま。

4. 次年度の活動について

次年度も、今年度と同様の活動を継続する。

（対外活動委員会WG（道路会社）WG長

大場 勝一郎）